

DairyComp ができること

要田 大地

本年5月に DairyComp305 の開発、販売元である VAS 社へ研修に行ってから6ヶ月が経ちました。あちらこちらで色々な方に DairyComp について教えて欲しいと尋ねられる機会が増えてきていることもあり、研修内容の復習もかねて皆さんに共有していきたいと思います。

今回は DairyComp の複数あるバージョン毎の特徴についてご紹介します。

DairyComp の各バージョンとその特徴

1. DairyComp 305 (DC305)

DairyComp の主要バージョンで、繁殖や健康管理、泌乳量などのデータ入力や分析が可能です。主に牧場の管理者やスタッフ向けに設計されており、日々の作業に必要な情報を一括して管理できます。

2. DC Client

DC305 と連携している別のコンピュータ(PC)からデータ入力ができるサブライセンスです。リモートでのデータ入力がメインですが、特定のペンだけアクセス可能にするなどの制限もかけられるため、牧場の別拠点やリモートワークのスタッフが使用するのに適しています。

3. DC Consultant

獣医師や飼料コンサルタントなどのデータ分析向けのバージョンで、データの閲覧と分析に特化しています。データ入力はできません。

4. DC Shadow

Consultant と似ており、閲覧専用のバージョンですが、主に牧場内でのデータの閲覧専用として使用されるバージョンです。こちらもデータ入力は不可です。データの確認のみが必要なスタッフや管理者向けに設計されています。

5. GrowerComp (GC)

預託牧場や肥育牧場向けに特化されたバージョンで、育成牛の健康管理や記録共有、請求書の作成ができます。

6. DC Teach

教育機関向けに提供されるバージョンで、学習用に限定されたデータ入力が可能です。大学や専門学校での教育用途として活用され、学生や教師が実際の牧場業務のシミュレーションを行うのに役立っています。

バージョン	概要	主な機能	対象ユーザー
DairyComp 305 (DC305)	データ入力と分析のすべて可能。	繁殖管理、健康管理、搾乳などのデータ管理と分析。	牧場の管理者や牧場スタッフ
DC Client	DC305 と連携し、別の場所からデータ入力可能なサブライセンス。	リモートでのデータ入力が必要な用途。	別拠点のスタッフ、リモートで確認するスタッフ
DC Consultant	獣医師や飼料コンサルタントなど、分析を行う専門家向け。	データ閲覧と分析に特化。データ入力は不可。	獣医師、飼料コンサルタント、ゲノム検査機関など
DC Shadow	牧場におけるデータの閲覧専用バージョン。	データの参照、レポートの閲覧。データ入力は不可。	データ確認のみが必要なスタッフや管理者
GrowerComp (GC)	預託牧場での育成牛の管理や肥育向けに特化したバージョン。	育成牛の健康管理、請求書作成など作業効率化。	預託牧場や肥育牧場の管理者
DC Teach	教育機関向けバージョン	学習用に限定されたデータ入力が可能、教育用デモ。	大学や専門学校の学生、教師

日本ではコンサルタントや繁殖検診を行う獣医師、人工授精所で複数の牛群の管理・分析のために使用されていることが多いと思いますが、基本的に DairyComp は牧場における牛群管理ソフトであり、牧場のコンピュータにインストールして使用することを想定されています。実際、アメリカでは多くの牧場に DairyComp が導入され、日々の作業データを農場で入力し、獣医や飼料コンサルタントが定期的にデータを DC Consultant で解析するという流れが一般的です。また、牧場間で牛が移動する際も、DairyComp を通じてスムーズにデータの引継ぎが可能です。

特に預託牧場向けの GrowerComp は、預託元からデータを受け取り、預託期間が終了するとスムーズに牛の情報を元の牧場へ戻す機能や請求書作成機能が備わっており、大規模牧場での業務効率を高めています。

今回は DairyComp305 のファイル構成や設定方法についてご紹介する予定です。

DC305 便利ワザ

Ditto key（ディットキー）を活用した時短テク

同じ情報を複数の牛に入力したいということは牛群情報を入力している中でよくあると思います。例えば、授精やワクチン接種、乾乳など……。

今回ご紹介する方法を使用すれば、繰り返しが多いデータ入力を効率化できます。

”Ditto”は”同上”や”繰り返し”を意味する英単語です。

ディットキーの基本的な使い方

1. 最初のデータ入力

ディットキーを使うには、まず最初の牛に対してすべての項目を手動で入力します。この際、授精(BRED)であれば、日付、Breeding コード、担当者、使用する種牛などの情報をすべて入力し、最後に Enter キーを押します。

※入力を求められる情報は牧場ごとの設定により異なります

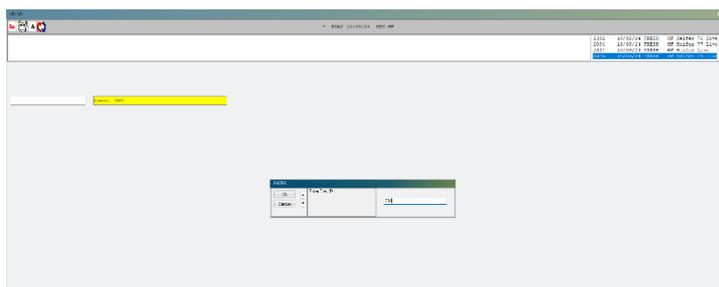
2. ディットキーを使用した繰り返し入力

同じ情報を適用したい次の牛の ID を入力した後、Enter キーの代わりにアスタリスク (*) を入力します。すると、最初の牛で入力した内容がそのまま自動的に適用され、データの入力が省略されます。

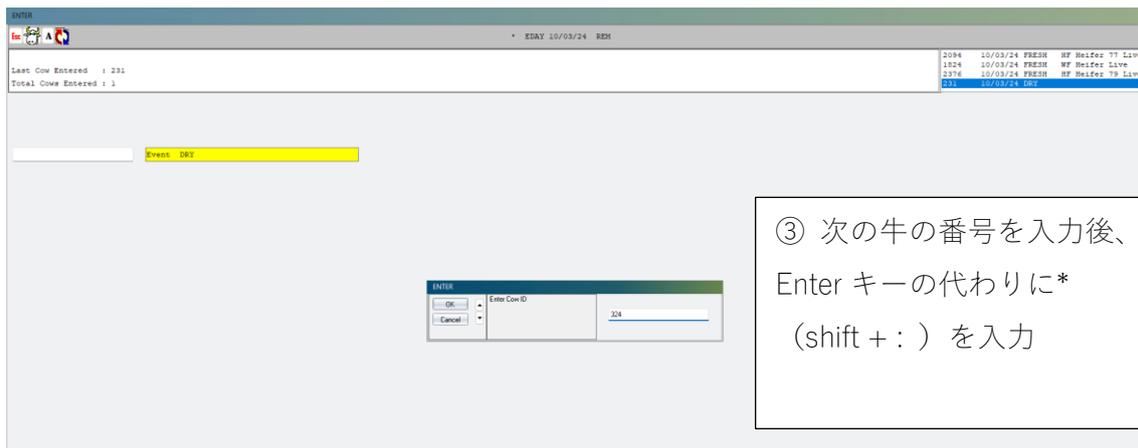
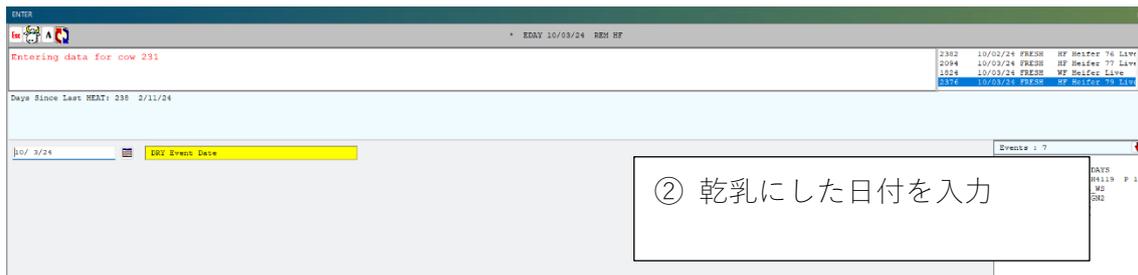
※設定にもよりますが、通常は Shift キーと : (コロン) の同時押しで * が入力できます。

具体的な使用例（乾乳の入力を例に）

たとえば、5 頭の牛に同じ日に乾乳にした場合、最初の牛で「乾乳にした日」「乾乳に関する Remark」などを入力し、Enter キーで完了させます。その後、2 頭目以降の牛については、ID 入力後に*を入力するだけで、最初の牛の情報が繰り返されます。



- ① Command line に DRY と入力すると牛の番号を求められるので、1 頭めの情報を入力。



1824	10/03/24	FRESH	WF Heifer	Live
2376	10/03/24	FRESH	HF Heifer	79 Live
231	10/03/24	DRY		
324	10/03/24	DRY		

④ 次の牛については、前の牛と同じ情報が入力されます。これを繰り返すだけです。